

ほしが丘町内会
**危険だと感じる道路遊びに関する
実態調査 報告**

2024年5月実施
ほしが丘町内会 生活安全部



はじめに

近年、私たちの生活や社会は大きな変化を遂げています。

それは、デジタル化を中心とした技術の発展による便利さの享受を受ける反面、ほとんどの国民が必要なものを手に入れられる状況から、個の要求に応えるステージに移行したことで、個々の多様な価値観が生産されるようになりました。

その結果、自身との差異を目の当たりにしたときに、SNSなどでよく見られるように、他者を受け入れられない、排除するなどの傾向が強まっています。

この、多様な価値観や生活スタイルの中でストレスなく生活するためには、工夫が必要となります。

そもそも私たちの世界には、法や条例といういわゆるルールがあります。
しかし全てをルール化することで逆に不便になることもあることからマナーやエチケットといった智慧が存在しています。

- ・「ルール」は守らなくてはいけないもので、強制力がある決まりごとです。
- ・「マナー」は強制力がなく、守ったほうがお互いに気持ちよく過ごせる態度・礼儀です。

マナーの特徴の一つに、TPOがありそれは、時と所と場面(状況)で変化します。また、時代によって変化もします。このある意味ゆるやかで変容するところがマナーの良さでもあり難しい点でもあります。

強い価値観でマナーを強制すると、イメージしやすい事象としてマスク警察や〇〇警察といった敵対関係が生まれ、かえって生きづらさにつながってしまいます。

そのため、マナーを成立させるにはひとえに、相互の理解と尊重 が欠かせません。異なる価値観や生活スタイルを持つ人々が共存する社会では、お互いを尊重し、理解することが必要 です。自分の考えや生き方だけでなく、他者の立場や背景も理解する心が大切 となります。

今回は、生活安全部の役員により、まずは他者を知るというファーストステップをふみたいとの提案があり、住民の皆様にご協力をいただくことになりました。

その結果、沢山のご意見やお考えをいただくことができました。たいへん感謝申し上げます。

今回のアンケートによって直ちに様々な問題が解決したり、無理なコミュニケーションを強要するものではございませんが、住民の皆様おひとりおひとりにとって、この星置という地で共生していく一助になれば幸いです。

ほしが丘町内会会長 横井孝弘

背景と調査の目的

本町内会では、道路でボール遊びや集団で道路に広がって遊んだりする様子もあり、車が近寄っても避けたりせず、非常に危ない場面が度々目撃されており、会員の皆様からも多数の意見(苦情)も寄せられています。

住宅街における道路遊びに対する法的な判断は難しいようですが、こういった危険な状況を改善するため、生活安全部では、兼ねてより回覧板等による注意喚起や北海道警察様と連携した子ども交通安全教室を実施するなどの活動を行なってきました。

しかしながら、なかなか改善の傾向がみられないのが現状です。また、**道路遊びに対する町内会員の認識にも、多少の温度差がある**ということもわかってきました。

そこで、今年度は、**町内会全体での課題の共有と共通認識の向上を図ることを目的**とし、道路遊び等に関する実態を調査、現状の把握するだけでなく、危険な道路遊びを減らすためのアイデアを会員の皆様から募集するなど、町内会全体でこの課題について考えていくため足がかりとなる資料とするために本調査を行うことにいたしました。

アンケート調査について

実施対象者	ほしが丘町内会会員かつe-メッセージ登録者 (配布数397)
実施期間	2024年5月18日～26日
方法	Google formによるオンライン回答
回答数	N=201(回答率 50.6%)
アンケートURL	https://forms.gle/cviP3Zdc8nu2Ng1z9

留意事項(調査時のgoogleformに記載)

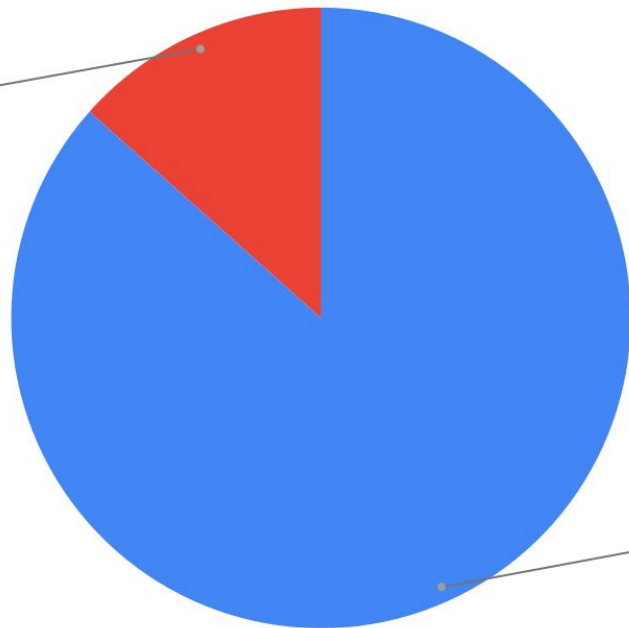
1. 回答に要する時間は、3～5分程度です。
2. 回答は、5月26日日曜日までをお願いいたします(アンケート調査の回答状況の様子を見て、回答期間の延長を行う可能性があります)。その後、役員で結果を集約し月上旬を目処に、町内会e-メッセージにて、アンケート調査結果の公表を予定しております。
3. 調査は非記名式で行い、アンケート調査結果を公表する際は、個人が特定されない形でいたします。なお、意見や要望がある方に関しては、メールアドレスとお名前を記名していただきます(回答内容に関してより詳しい聞き取りの必要がある場合に使用いたします)
4. 道路交通法第七十六条により、交通のひんぱんな道路で球技やローラースケート、またはそれに類する行為(※)をすることは禁止されていますが、町内の道路が交通のひんぱんな道路に該当するか否かは判断が難しいところです。しかしながら、道路遊びは、交通事故や器物破損等の重大なトラブルが生じる恐れがある危険な行為であることは事実だと思われます。※スケートボード、キックスケーター、ペダルのない幼児用二輪車も遊具のため、禁止行為の対象となります。
5. (参考文献)[地域住民から見た住居内道路における道遊びに対する意識](#)

①道路遊びの目撃の有無と目撃時の状況について

「ほしが丘町内会内で、子どもによる危険だと感じる道路遊びを目撃したことがありますか？」

ない

13.4%



ある

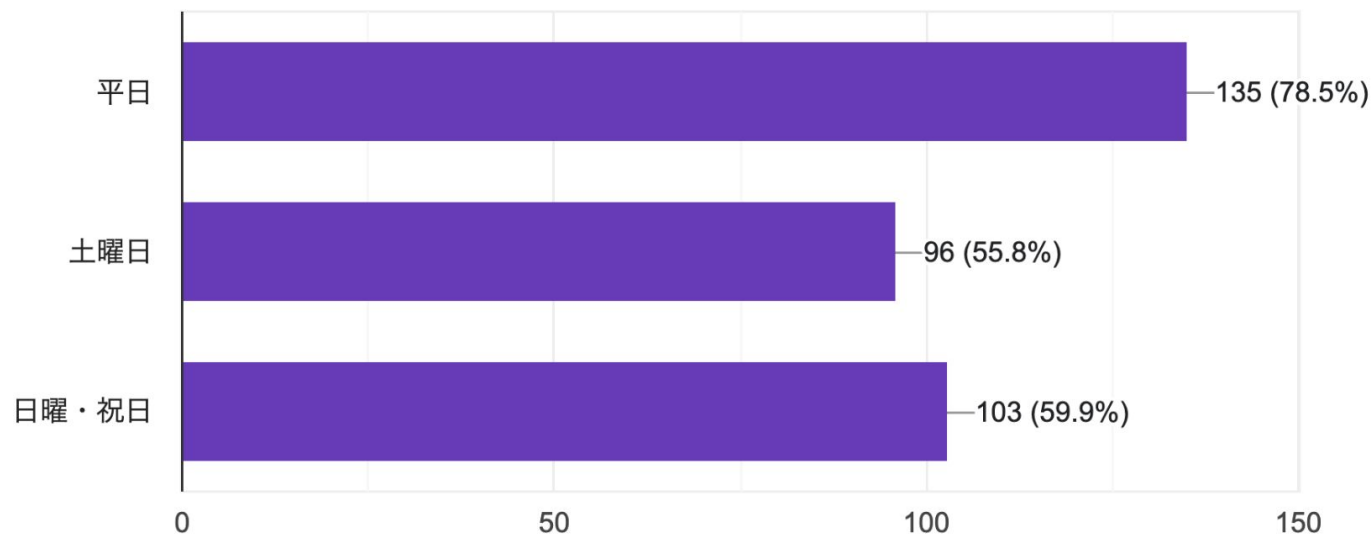
86.6%

コメント

回答者の9割近くが、町内で危険だと感じる道路遊びを目撃したと回答。

一週間のうち、どの日に多く目撃しますか？（複数回答可能）

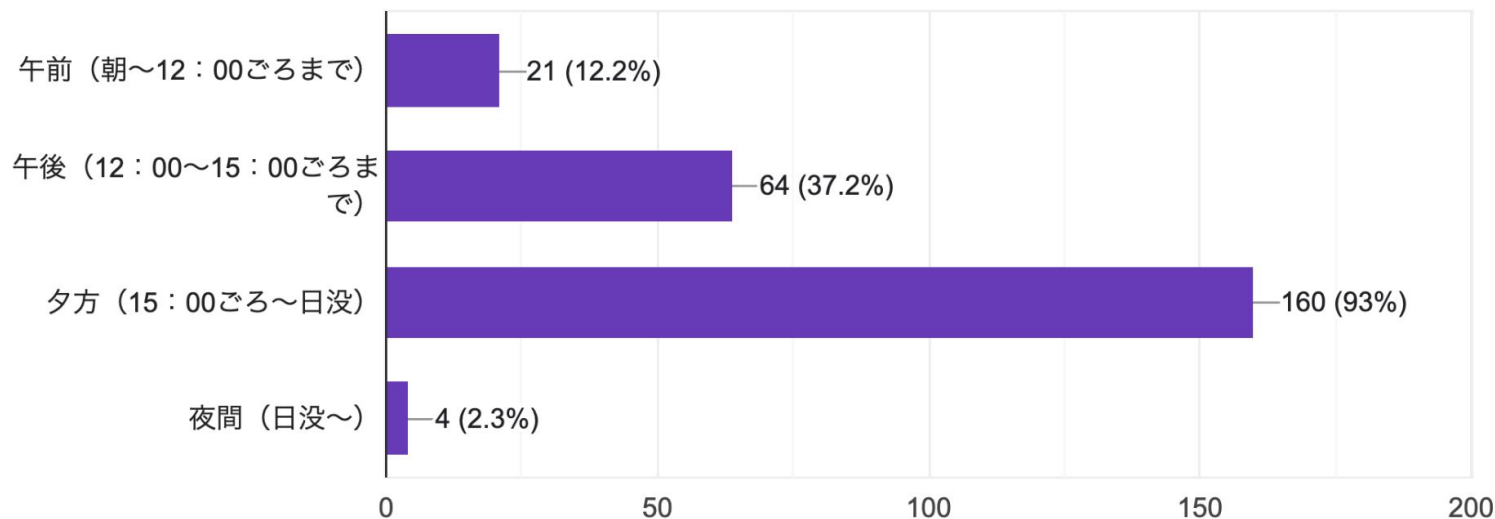
172 件の回答



平日の目撃が多い。

一週間のうちどの時間帯に多く目撃しますか？（複数回答可能）

172 件の回答

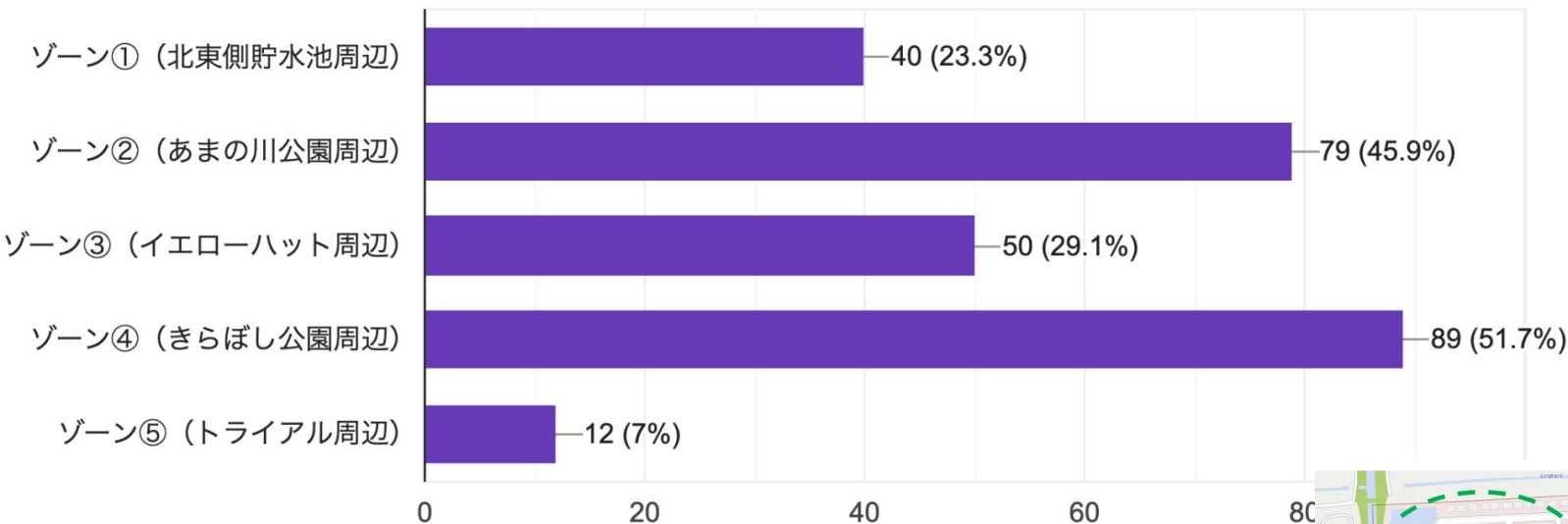


コメント

夕方が多く、前質問から「平日」と「夕方」の組み合わせが多いと考えられる。学校から帰宅後の放課後の時間帯に危険な道路遊びが集中しているのではないのでしょうか。

どこで多く目撃しますか？下の地図の当てはまる数字にチェックを入れてください（複数回答可能）

172 件の回答

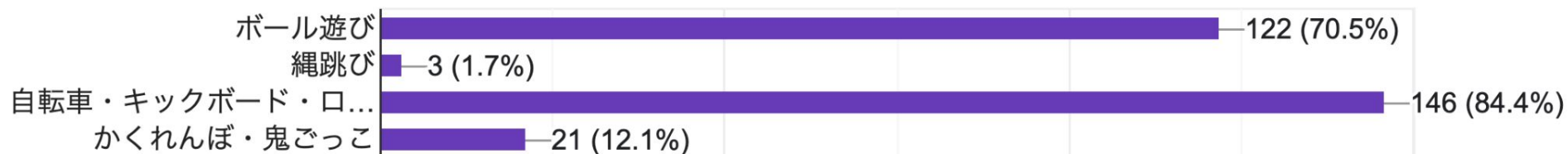


コメント

町内の2つの公園近辺での目撃が目立つ。

危険だと感じる道路遊びはどのような遊びを目撃しますか？

173 件の回答



その他

- ・ローラースケート・スケートボード・ウェイクボード
- ・ラジコン
- ・道路を塞いでのバドミントン、バスケ
- ・道路の真ん中で寝てる
- ・道路を挟んでのキャッチボール
- ・野球

コメント

「ボール遊び」と「自転車」などの乗り物による遊びが多い。

②道路遊びに対する認識について

「ほしが丘町内会区域内では、道路遊び(危険性のある、なしに関係なく)をして良いと思いますか。」

遊んでもいいと思う

14.0%

どちらかといえば遊んでいいと思う。

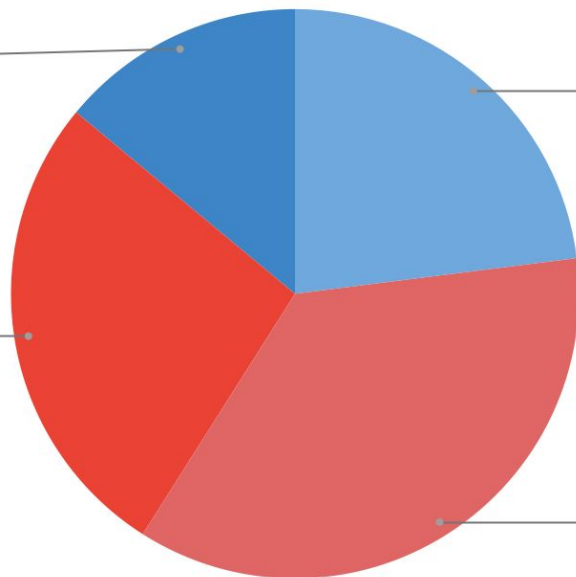
23.0%

遊んではいけないと思う。

27.0%

どちらかといえば遊んではいけないと思

36.0%

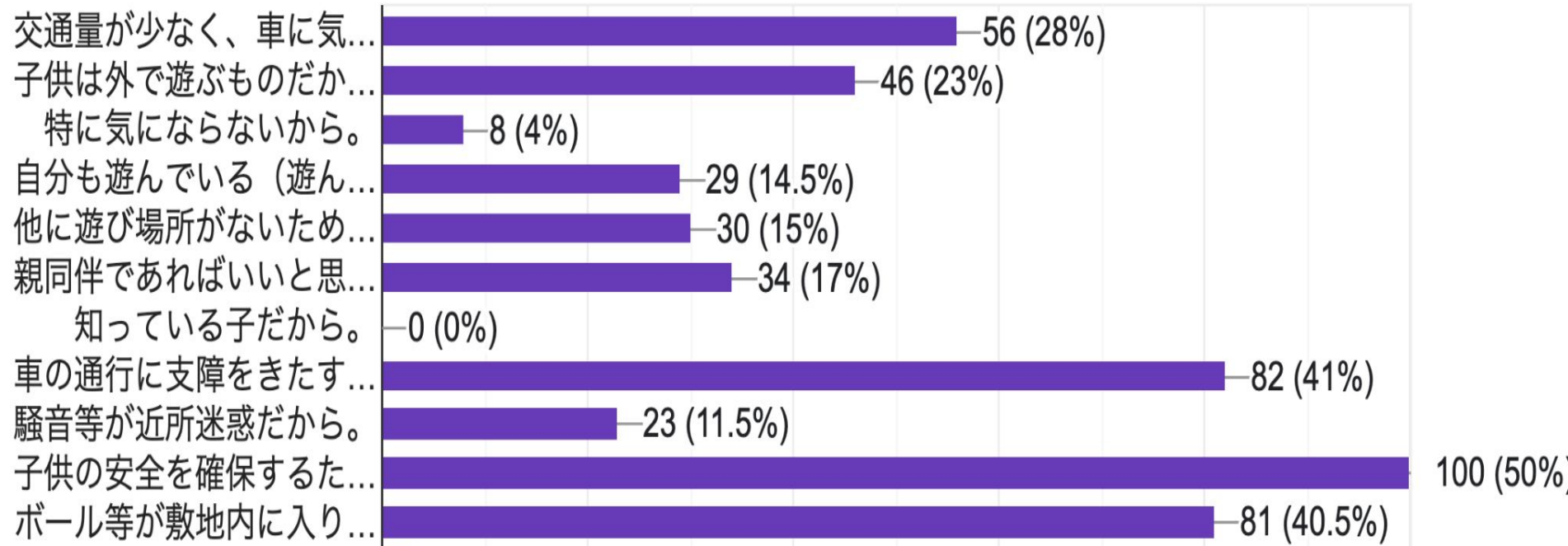


回答者の6割以上が、道路遊びに対して否定的な認識を持つ一方で、肯定的な意見が4割近くあり、会員の中にも認識について割れている。

そのように考えた方の理由(選択肢式)

上記のように考えた理由を教えてください。

200 件の回答



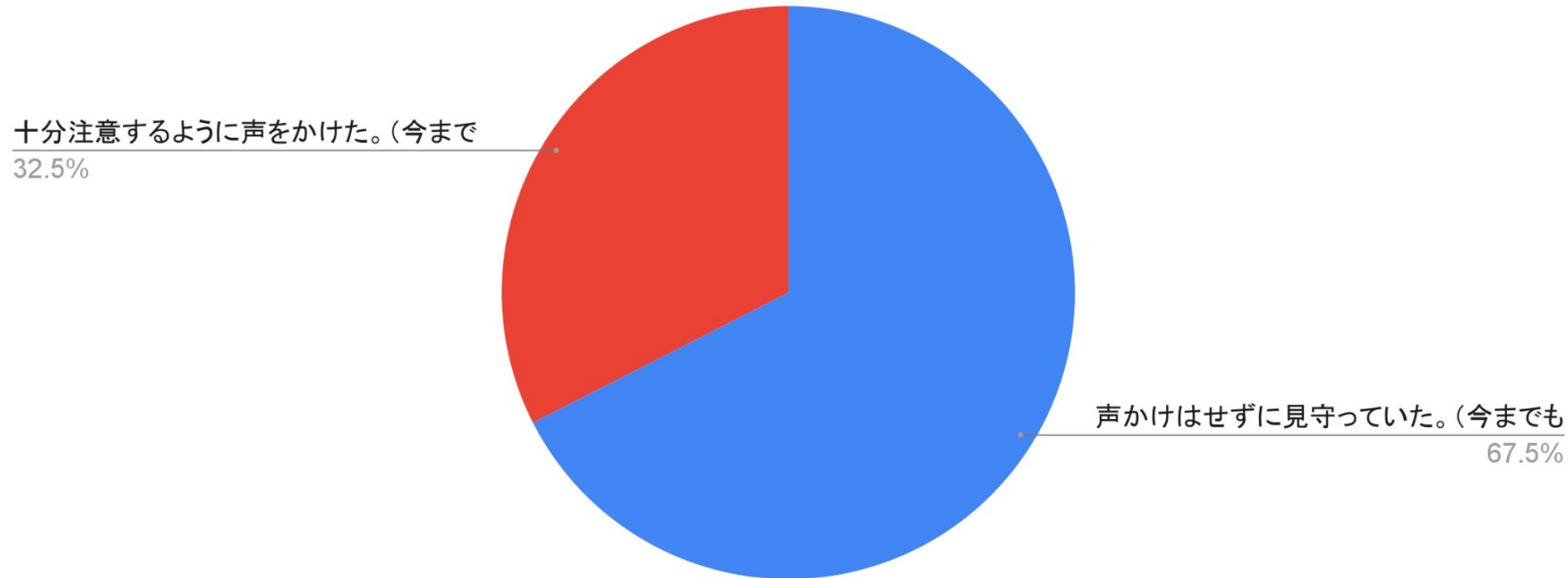
遊んでもいいと考えた方の理由(選択肢以外の自由記述から)

- ・きらぼし公園などの交差点は子ども達が周りを見ないで渡るのが危ないと感じますが、道路遊び自体はしてはいけないとは思わないです。
- ・もちろん保護者の監督や、子供達のマナーのある遊び方も必要だが、そもそも本来は住宅街を走るドライバーが危険予測した上で、減速したり注意を払いながら走るべきものだから。
- ・過去にボール遊びで家の設備が壊されたことがある。遊ぶにしても保護者が責任を持ち、子に対しても注意事項をしっかりと伝える必要があると考えます。
- ・公園はあるが、そもそも他の子がいるためボールを使って遊ぶスペースがない。
- ・子どもは遊ぶものなので、大人が危ない時は声かけ見守り、車をゆっくり走らせることを注意喚起したらいいと思います。子どもの行動を制限ではなく、大人が行動する！
- ・車側がゆっくり走って気をつけるべき。遊んでいなくても、子供は飛び出して来ます。
- ・親が見守り、指導することを前提に遊ぶのが良い
- ・遊ぶなと行っても遊ぶのが子供です。しっかりと周りに気を付けるようにして遊ぶように気をつけるよう教育をするべきです。車も気をつける、子供も気をつけるでいいと思います。個人的に危なかったのは家から公園に向かって走り出してた子供でした。遊んでるわけでもなくても危険はあるので、遊ぶなという指導は意味がないと思います。

遊んではいけないと考えた方の理由(選択肢以外の自由記述から)

- ・しても良いという意見がある事自体考えられません。子供のうちにそのような決まりを教えないでどうするのでしょうか。
- ・なにがあっても過失は車になります
- ・近くに広い公園が2つもあるので、そこで遊べるのでは？
- ・交通事故発生の恐れがあるから
- ・交通量によって違いはあるが危ないと感じる。
- ・車が通るから。危ないので遊ばせない。
- ・常識的には駄目ですが、きらぼし公園沿いの太い道路以外は車に気を付ければ遊んでも構わないのではないかな？子ども達よりも、運転する大人が気をつけて走るべきだと思う場合も多々あります。
- ・道路は車や歩行者が通行するところだから。事故があってからでは遅いから。
- ・道路は遊ぶ場所ではありません

「子どもが危険だと感じる道路遊びをしているのを目撃した時、どのように対応しましたか。」



7割近くが、声掛けせずに見守り。

声かけした際にどのような声かけをしたか

- ・危ないから避けてもらってもいい？
- ・ボール遊びはどうしても道路をまたいだりして危険なことを伝えた
- ・"壊れたり、傷つけたらあなたの親が責任取らないといけないけどどうするの？自分の自宅前でやればいいのでは？と伝えました。(実際自宅の物にボールをぶつけてきたので)
- ・車来てないかどうかちゃんと見るんだよ
- ・スピード出す車もいるからここから(交通量の多い通りへ)飛び出さないように
- ・危ないよ
- ・敷地内に入っていたので、ここで遊ばないと声をかけた
- ・敷地にボールが入る 自転車避けない
- ・道路は危ないよ
- ・道路で遊んだら危ないよ
- ・道路で遊ばないで
- ・窓を開けて、あぶないことを伝える
- ・選択がなかったため、こちらの解答にチェックしたが、そもそも注意するような危険に遭遇した事がない。
- ・車来てるよ止まってね
- ・車道に出て複数人がスコップで雪を投げ合っていた為、危ないので場所を移動するよう声をかけた。
- ・車や人が来ている際は注意するように声かけた
- ・車もくるからちゃんと見ながら遊んでね！とはよく呼びかけます。あとは道路で遊んでたとしてもど真ん中ではなく、道路のはじっこで遊んでる事の方が多いので、特に強くは言いません。
- ・車に全く気づいていない場合は、危険と言うことを口頭で注意しました
- ・車に気をつけてね

声かけした際にどのような声かけをしたか

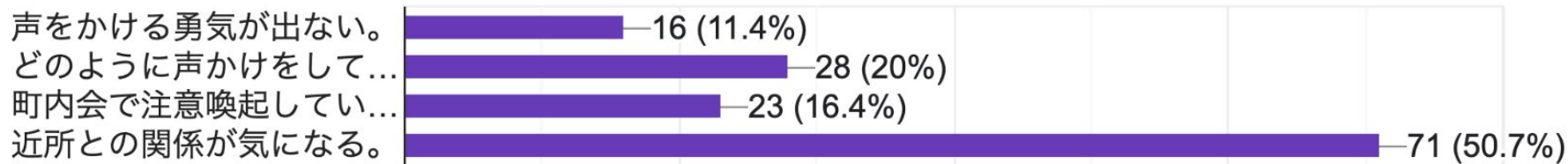
- ・車が来てるよ！
- ・車が来たら歩道に上がる
- ・車が来たら、歩道や家の敷地に入りなさい
- ・車が通る時はよけな～
- ・車がよく通り、見通しが悪い道路だったから、自転車で車道で遊ばないように注意した。
- ・車がくるから危ないと、端的に子どもたちに伝えた。その時はすぐにやめたが、次の日は、親の見守りのもと遊んでいた。
- ・車、危ないよ。気をつけてね
- ・次からキオつけるよう、注意した
- ・左右見ずに道路を自転車で走る幼稚園児に「車来るから危ないよー」と注意しました。
- ・公園で遊ばせなさい。
- ・危ないよと声をかけました
- ・危ないよー
- ・危ないよ。遊ぶのなら、公園行って遊びな。小学校では道路遊び禁止って言われてるはずだよね。
- ・危ないよ。曲がり角は止まろうね。自転車などの場合、減速しようね、等
- ・危ないよ 気をつけて
- ・危ないよ ダメだよ 名前を聞くなど
- ・危ないので、なるべくならやめたほうがいいと伝えた
- ・危ないから公園で遊んでね
- ・危ないからやめなさい。
- ・"危ないから、道路渡る時は止まって左右確認するんだよ！ "

声かけした際にどのような声かけをしたか

- ・我が家の前の道路でボール遊びをして敷地内に入ったりもしたので、車にぶつかったりしたら大変だからやめなさいと言いました。何度も同じ事を言っています。
- ・ゆっくりはしてね
- ・やってはダメなことを具体的に伝えた
- ・ボールが敷地内の車に当たったのを室内から確認できたので、すぐに外に出て注意した。注意の仕方としては人の敷地前でボール遊びをしないように注意した。
- ・スピードを出している車が多いので、道路を渡る時は止まらないと危ないよと声を掛けたり、そばにいる時は危険に関わらず車が来てるよ！と声かけするようにしています。
- ・キックスケーターや自転車は歩道で乗る事。歩いている人にぶつからないように、気をつけること。スピードは出さない事。道路を渡る時には、必ず止まって車に注意すること。
- ・ボール遊びは星ヶ丘町内では禁止。
- ・見ていてこわい(危ないと感じる)から、十分に、注意してね。
- ・車を運転している方もこわいから、可能なら公園で遊んでね。
- ・車に十分気をつけて、できるなら道路じゃない場所で遊んでね。 "

「声かけが難しい」と回答された方に伺います。どのような理由が思い浮かびますか。

140 件の回答



その他の理由(自由記述)

- ・猛スピードで自転車に乗ってる子に声かけをできるタイミングがないから
- ・道路遊びをしている子の親はそれを良しとしている家庭であり、注意されたのを知ると逆に文句をいってくる場合があるから。
- ・ヒヤリ体験をすることでこどもが自ら学習と思ったから
- ・走り去って行った子供を捕まえるのは難しいので。
- ・声を掛けるまでもない
- ・親の責任では？
- ・親が注意するべきだと思います
- ・親が注意するべき
- ・車内から見かけるので車を停めてまでは注意しづらい
- ・車を運転中なので、早く避けて通りすぎようとするから。わざわざ停車して注意しには行かない。
- ・車を運転中だから
- ・車の中から見かけるから

その他の理由(自由記述)

- ・車に乗車中のため
- ・車で通る時には声はかけにくいし、親が近くにいる場合も多いため声がかけにくい。
- ・社会として明確なルールがなく、家庭間で恐らく認識が違うと感じるため。
- ・自分の子も道路で遊んでるのに、他人の子だけ注意するのは矛盾してるから。
- ・今のところは子供が避けるのを待ったり、徐行したりとこちら側が気を付けることで対処できているため。
- ・声をかけて不審者扱いされても困るので。
- ・危険があるときは親がいないため子供に注意しても伝わらないと思う。
- ・バスケをしている子は年齢が大きい子が多く、怖く感じる
- ・基本的には保護者が見るべきであると思うから ...危険な場合は声をかけています。
- ・器物破壊の場合は保護者、交通事故の場合はドライバーが未然に防ぐコントロールが基本に考えている。そのシチュエーション意外であれば必要に応じて声かけしようと思う。
- ・危ないと感じた事が無い
- ・モンスターペアレンツがいたらやっかいだから
- ・タイミングが合わない。近くで見ていたわけではないため。
- ・その子供の家で道路では遊んではいけないと言われてないと思うので、子供に注意してもわからないと思うから。
- ・そのようなシーンを見た事がなし
- ・すぐに行ってしまったから
- ・①指導すべきは、親であるため② 1番怖いのは、幼児や小低の子たちであり、子どもが親の目の届かない所で危険な場面を見ても、認知的にも世間体的にも現実的でないと考える

③道路遊びの改善に向けたアイデアなど

【留意点】

- ・選択肢以外にも、自由記述による具体的なアイデアを多数いただきましたので、いくつかジャンル分けをして紹介させていただいております。ご了承ください。
- ・要約前のアイデアやご意見の原文は、リンクからご覧ください([こちらから](#))。

※一部、個人が特定される可能性があるものが含まれておりましたので、こちらで削除させていただきました

危険だと感じる道路遊びを減らすためのアイデア...実現可能性について未検討なものを含みます。

188 件の回答



コメント

「公園でのボール遊びを可能にする」が最も多い回答。

その他のアイデア(自由記述)

(1) 運転者側のより一層の安全運転への協力・心構えに関するご意見など(12件)

- ・運転者側が、多くの子どもたちが生活・活動するエリアであることを理解し、急な飛び出し 等に備え、より一層の安全運転(徐行など)に心掛けることが重要ではないか。
- ・安全運転を促すような標識などの設置が必要ではないか。

(2)各家庭での子どもへのご指導や保護者の意識に関する意見など(11件)

- ・小さい子(未就学児、小学校低学年くらい)だけで道路遊びしていることがあるが、危険なことやトラブルが起きないように、保護者がもっと見守るべきでないか。
- ・それなりに交通マナーを理解できる年齢の子ども(小学校中学年くらい)の子どもが危険な道路遊びや他人宅への侵入などを行っていることがあるが、各家庭での指導が必要ではないか。
- ・子どもが危険な道路遊びや迷惑行為(他人宅への侵入や道路寝そべりなど)を行っていても注意しない保護者が散見される。そのような保護者の意識改善が必要ではないか。

(3)町内会からの声掛け・取り組みに関するご意見など(4件)

- ・ご近所さんへの注意はしにくいため、引き続き、町内会側からの呼びかけをしてほしい。
- ・このようなアンケートなどを通し、意見を出し合うのは良いと思う。
- ・参加しやすいところ(町内の公園など)で交通安全に関する教室を開催し、意識改善につなげてほしい。

(4)行政への要望に関するご意見など(3件)

- ・公園にフェンスを設置し、子ども達が自由にボール遊びをできるようにしてほしい。
- ・下手稲(出光GS、マクドナルド)への信号の増設や、トライアル前の交差点において、下手稲通から曲長通に向かう際に右折信号が必要である。

④道路遊びの現状に関するご意見など

【留意点】

- ・選択肢以外にも、自由記述による具体的なアイデアを多数いただきましたので、いくつかジャンル分けをして紹介させていただいております。ご了承ください。
- ・要約前のアイデアやご意見の原文は、リンクからご覧ください([こちらから](#))。

※一部、個人が特定される可能性があるものが含まれておりましたので、こちらで削除させていただきました

(1) 自転車のマナー改善に関するご意見など(5件)

- ・相当なスピードで走行しているストライダーや自転車が散見される。
- ・左右確認などをせずに十字路に飛び出してくるストライダーや自転車が散見される。

(2) ボール遊びのマナー改善に関するご意見など(4件)

- ・激しいボール(それなりに球速が出ている、キャッチボールやサッカーなど)遊びが散見されるが、トラブルや怪我に発展しないかが心配である。
- ・バスケットボールなどの音が響く遊びについては、周囲の気遣いが必要である。
- ・ボール遊びができる場所の情報提供や確保も課題か。

(3) その他

- ・北斗市では貯水池を遊び場として開放しており、きれいな状態で管理できている(雑草の除去などにも手が行き届いている)。
- ・わが社に来る各種宅配事業者から、車が来ても子どもが避けないことに対する苦言を呈されたことがある。
- ・割り当てのゴミステーション以外を利用する人がいる。
- ・ペットの飼育に関する注意喚起なども必要か。

⑤調査のまとめと共通理解

<道路遊びの現状について>

会員の多くが危険だと感じる道路遊びを目撃しており、なかには実際に被害を被った方が一定数いらっしゃる事が明らかになりました。

また、自転車やボール遊びのマナー改善を求める声のほか、**保護者の意識改善を求める声**も寄せられています。

<道路遊びに対する認識について>

回答者の6割以上が、道路遊びに対して否定的な認識を持つ一方で、遊び場所が限られている等の背景もあり、4割近くの方が肯定的な意見を持っており、**会員の中の認識が割れています**。

<今後の方針と共通理解>

町内会生活安全部としては、交通事故やご近所トラブルなどに繋がる恐れがあることから、**危険な道路遊びは肯定できるものではない**と考えますが、多くの子ども達が活動する当町内会において、**危険な道路遊びを無くすことは難しい**と思われます。

町内会としても、注意喚起、啓発活動、遊び場情報の提供などに努めて参りますが、**子どもの見守り(特に幼児や小学校低学年は親が見守り)や、より一層の安全運転(徐行)など、地域全体として子ども達の安全を守っていく姿勢が重要**と考えます。